

平成29年度ふれあいバス特定路線調査

1. 背景

平成28年度に実施した「ふれあいバス等運行評価等業務委託」において実施した乗降調査にて利用者数が特に少ない運行便が見られた(表1)。

また、平成28年度(H27.10月~H28.9月)における1便当たりの乗車率(月別)では、平日は、東西線朝夕便が最も乗車率が低く、東西線、蘇原線が次いで乗車率が低い傾向が見られる(図1)。

休日は、蘇原線、稲羽線の乗車率が低いことが分かる(東西線、東西線朝夕便は平日のみ)(図2)。

表1 利用者が1.0人以下の便

路線	平・休日	方向	便	利用者数
鵜沼線	平日	左回り	1便(7:25)	0.5人/便
	休日	左回り	3便(14:16)	1.0人/便
4便(16:46)			1.0人/便	
那加線	休日	右回り	2便(12:10)	0.0人/便
			4便(16:46)	1.0人/便
川島線	休日	新那加行	1便(7:30)	1.0人/便
蘇原線	休日	市民球場行	1便(9:20)	1.0人/便
		市役所前駅行	5便(16:20)	1.0人/便
東西線	平日	瞑想の森行	5便(18:40)	1.0人/便
東西線朝夕便	平日	新鵜沼行	1便(8:13)	0.5人/便

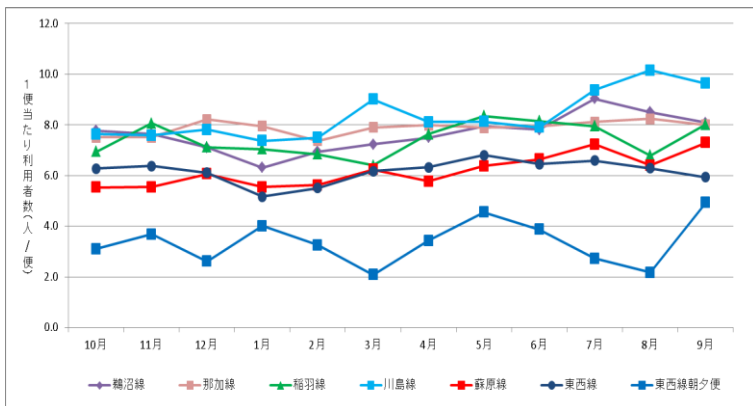


図1 平日における路線別乗車率(人/便)

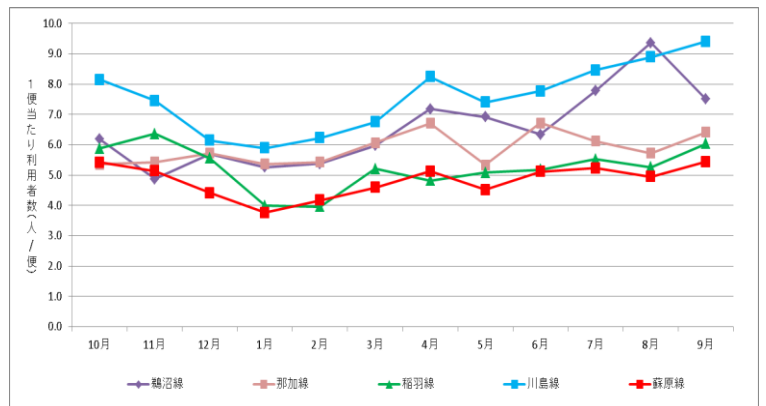


図2 休日における路線別乗車率(人/便)

2. 調査主旨

有限である資源（資金、人材、車両等）の中で、より本市公共交通の利便性を向上させ、効果的・効率的なふれあいバス運行体系を築くため、本調査では利用の少ない運行便のうち、他のダイヤへの影響なく、廃止や他路線への車両や運転手の再配置が検討できる下記2便について調査を実施する。

本調査及び各地域での検討会后、一定の猶予期間を設けて利用者数や乗車率の動向を把握しつつ、同便の利用者数や乗車率等が改善しないようであれば、運行便の不足や一部区間の間引き等、制限がかかっている他路線への移し変え等の再編案を検討する。

調査対象運行便及び再編案

○東西線

路線	平・休日	方向	便	備考
東西線	平日	瞑想の森行	5便（18:40）	利用者数 1.0 人/便

↓

川島線	平日	市役所前行	5便（18:40 頃）	新規便 現在は 4 便（14:55）まで
-----	----	-------	-------------	-------------------------

○東西線朝夕便

路線	平・休日	方向	便	備考
東西線朝夕便	平日	新鵜沼行	1 便（8:13）	利用者数 0.5 人/便

↓

稲羽線	平日	—	2 便（8:13 頃）	「各務原市役所前駅」 — 「東海中央病院」までを拡充
-----	----	---	-------------	----------------------------

※本調査では、同便を含む東西線、東西線朝夕便の他運行便についても調査を実施する。